産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例（1～3年度：計画作成主体：新潟市亀田郷農業再生協議会 新潟市秋葉区農業再生協議会 ）（新潟県）

取組の概要

対象品目　　：水稲（産地面積394ha）
主な取組主体：農業法人８法人、農業者３名
成果目標　　：輸出向け出荷量の10%以上の増加
　　基準（H30年度）１２０トン
　　目標（R５年度）２５２トン
導入施設等　：生産支援事業（機械リース
　　（トラクタ７台、田植機５台、
　　コンバイン５台、水管理システム））

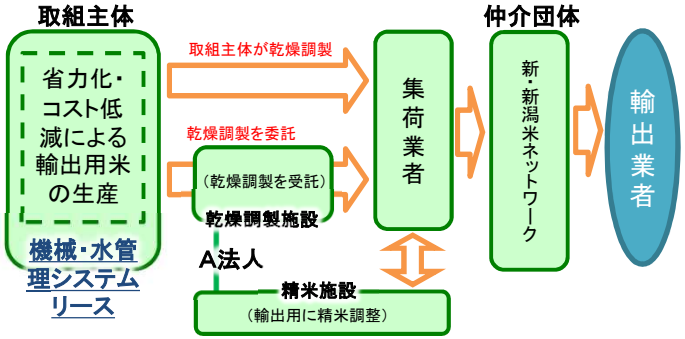
新潟県
新潟市
秋葉区・江南区・
東区地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】
　稲作の依存度が高い当産地では、高齢化に伴い取組主体らのグループへの委託希望が増加している中、水田フル活用と需要に見合った米生産に意欲的に取り組んでいる。今後、新規需要米のうち特に輸出用米に力を入れることにより更なる経営の安定化と地域水田保全を目指すため、輸出用米の価格競争力を高める生産コストの低減及び規模拡大に対応する作業の省力化により、輸出用米の出荷量増加を目指す。

【産地の体質強化に向けた方策】
①担い手が輸出用米等の省力化により作付規模を拡大するために必要なICT対応農業機械のリース導入支援
②担い手が輸出用米等の省力化により作付規模を拡大するために必要な水管理システムのリース導入支援

産地体制

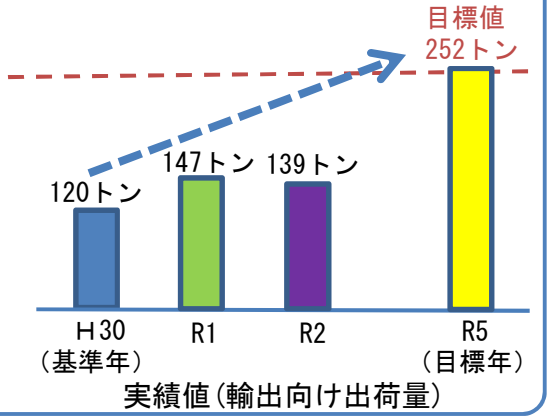


地域における独自の取組

〈主な取組〉
・輸出用米取組者ネットワークによる輸出業者との契約
・輸出用米の中心的担い手法人が国補事業により地域の輸出用米等の乾燥調製施設と精米施設を整備

取組成果

【事業実施による直接効果】
①リース支援による初期投資の節減効果
②ICT農業機械等のリース導入による省力化とコスト節減効果

【事業実施による間接効果】
①担い手等による作付面積が拡大し、生産量が増加
②輸出用米の低コスト生産により、競争力が高まり、出荷量が増加

輸出向け出荷量が15%増加
（達成率14.1%）